



2022年 6月 24日
第224号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川 一実

編集 集情 宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



小田原支部主催



「東労組破壊を意図する会社姿勢を許さない！ 緊急集会」を開催

6月23日、小田原 UMECO にて小田原支部主催「JR東労組破壊を意図する会社姿勢を許さない！緊急集会」が開催され、緊急集会にもかかわらず46名の仲間が結集しました。

本柳委員長からは、「小田原支部副委員長・書記長が本人のキャリアビジョンとは程遠い異動先への事前通知が手渡された。小田原支部執行部はこの一年間で4名が異動となる。今、小田原支部は会社攻撃の矢面にいる。これは個人だけの問題ではなく、支部運営の破壊である」と問題提起がされました。

藤原副委員長と杉山書記長からは、「家族状況を正直に伝えたが、何も考慮されなかった。正直に話さなければ良かった」「家族に話をしたら黙り込んでしまった」と本人の苦悩と、「納得がいかないのに黙ったままで良いのか」「後輩のためにも声を上げる必要がある」と簡易苦情申告を提出した経過について報告がありました。

参加された組合員からは、「ジョブローテーション転勤によって3名の方が退職の道を選んでいる。社員・家族の幸福は全く無視で、今回の異動は組織破壊そのものだ。」「意識付けから事前通知まで短すぎる。これは本人に考えさせないためだ。社員・家族の幸福より会社の効率性だけしか考えていない」「自分の弟子もジョブで悔しい思いをしてきた。そこが自分の転換点。自分の出来ることは何か！真実を周囲に伝えることだ。夏季手当も社員・家族の幸福実現とは正反対だ」と怒りの声が述べられました。

今回、3名の組合員が簡易苦情申告を行っています。発言にもあるように、ジョブローテーションによって異動した社員が休職したり、会社を辞めている現実があります。労働組合として検証運動を行い、たたかいを広めていきます。

会社の意図する異動とは何かを今一度考えよう！

おかしいことはおかしいと言える当たり前の職場風土を実現しよう！

職場からジョブローテーションの検証運動をつくり出そう！